

農 研 速 報

平成 24 年 9 月 4 日発行

茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室

〒301 - 0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297 - 62 - 0206 FAX 0297 - 64 - 0667

作物名(大豆)

県 名	生育ステージ		生育の状況	これまでに講じた対策 及び今後の方針
	本 年	平年対比		
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 莢伸長期	遅い	8月の龍ヶ崎の気象概況は、平年と比較して、平均気温は 0.8 高く、積算降水量は 18%、積算日照時間は 142%であった(龍ヶ崎アメダス観測値。平年値は直近 5 ヶ年の平均値)。	紫斑病及び害虫防除を実施した。 (8月3日、8月17日、8月28日) チョウ目幼虫の発生が県下全域でやや多い～多いことから、圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を行う。 吸実性カメムシ類の発生が多くなると予想される。莢伸長期～子実肥大中期(粒の直径が 0.5～1cm 程度)頃に防除を徹底する。 (の詳細については病害虫防除所発行の病害虫速報 No.3,4 を参照下さい。)
	納豆小粒 開花終～ 着莢期	やや遅い	生育は平年と比較して以下のとおりである(表)。 開花期はタチナガハで 6 日遅く、納豆小粒で 3 日遅かった。 タチナガハは主茎長が平年より低く、主茎節数はやや少ない。分枝数が多く、茎は細く、生体重は平年並である。納豆小粒は主茎長が平年並で主茎節数は少ない。分枝数も多く、茎は細く、生体重は重い。 着莢数はタチナガハ、納豆小粒ともに平年より少ない状況である。 現在の生育は写真(次ページ)のとおりである。	

表 生育診断調査(8月24日調査、播種後 58 日)

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	8月6日	+4	+6	52	88	93	13.1	97	96	4.9	126	117	9.3	82	89
		(8月2日)	(7月31日)		(59)	(56)		(13.5)	(13.6)		(3.9)	(4.2)		(11.4)	(10.4)
納豆小粒	8月10日	+3	+3	73	90	99	15.4	93	94	6.9	108	111	8.0	71	77
		(8月7日)	(8月7日)		(81)	(74)		(16.5)	(16.4)		(6.4)	(6.2)		(11.2)	(10.4)

品 種	地上部生体重			一株莢数		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	212	91	100	83	69	86
		(233)	(213)		(121)	(96)
納豆小粒	275	109	114	151	84	80
		(252)	(242)		(180)	(188)

試験場所は農業研究所水田利用研究室内圃場(龍ヶ崎市、中粗粒灰色低地土)。

()内は前年値又は平年値。平年値は平成 19 年～23 年(5 ヶ年分)のデータの平均値。

茎の太さは第 1 節(子葉節)と第 2 節(初生葉節)の節間の長径を測定した。

耕種概要:6月27日播種、11.1 株/m²(畦間 60cm×株間 15cm)1 本立て、

施肥量; N-P₂O₅-K₂O:0.3-1.2-1.2(kg/a)



写真 農研水田利用研究室圃場における生育状況(8月29日撮影)

播種日:6月27日、栽植密度:11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2